

## 授業科目 臨床医学 I

【担当教員名】 遠藤 和男、盛田 路子		対象学年	2	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
【概要・一般目標：G10】 医学基礎で学んだ臨床医学の入門的知識と総論的事項の理解を土台にして、具体的疾患の医学的側面（病態生理、症状、診断など）を学習する。特に臨床栄養学と関連の深い消化器系疾患や生活習慣病を重点的に学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 ・基本的医学用語の意味や概念を説明できる。 ・主要な疾病の概念と病態を説明できる。 ・主要な臨床検査について、その目的や意義の説明と、結果の解釈ができる。 ・疾患診断の概要を理解する。疾患治療の概要を理解できる。 ・生活習慣病の発症機序や病態整理をもとに食事療法の意義を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	臨床検査・症候概論			講義、担当：遠藤 和男	
2	消化吸収の生理学復習、便秘と下痢を来たす疾患			講義、担当：遠藤 和男	
3	胃腸疾患			講義、担当：盛田 路子	
4	肝臓、胆道、膵臓疾患			講義、担当：盛田 路子	
5	食欲の調節機構、摂食異常、肥満			講義、レポート出題、担当：盛田 路子	
6	糖尿病（Ⅰ）			講義、VTR、担当：盛田 路子	
7	糖尿病（Ⅱ）			講義、VTR、レポート提出、担当：盛田 路子	
8	脂質異常症			講義、担当：盛田 路子	
9	高血圧症			講義、VTR、担当：盛田 路子	
10	動脈硬化症と虚血性心疾患			講義、VTR、小テスト、担当：盛田 路子	
11	高尿酸血症、メタボリックシンドローム			講義、担当：盛田 路子	
12	腎疾患（Ⅰ）			講義、担当：盛田 路子	
13	腎疾患（Ⅱ）			講義、担当：盛田 路子	
14	呼吸器疾患（解剖、生理学的事項を含む）			講義、担当：盛田 路子	
15	まとめ			担当：盛田 路子	
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>			
教科書 (必ず購入する書籍)		人体の構造と機能および疾病の成り立ち 疾病の成因・竹中 優 医歯薬出版 2011・3,500円＋税 病態・診断・治療 第2版			
参考書					
その他の資料		プリント			
【評価方法】 1. 出席状況とレポート提出（30点） 2. 期末試験（70点）			【履修上の留意点】		